

05月21日(日)開催 第2982回例会

神戸市民山の会同調

「布引から再度コース」をサポートして

例会委員 H・Y

三日前から始まっている神戸まつりのメイン行事が行われる日とダブっていたので、参加者は思いのほか少ないだろうと予想していたが、新神戸駅1階の集合場所には溢れんばかりの参加者で埋められていた。

当初の予定では、布引貯水池を渡った所から、水天宮をお祭りしている横の狭い道を登り、ハーブ園へ入ることになっていたようだが、250名もの人間が貯水池を超えたあたりで渋滞すると、他のハイカーに大変迷惑を掛けることになるので、みはらし台から上の車道を歩くことに変更した。



尾根への取付手前（ハーブ園内）でトイレ休憩

ハーブ園東端からのハイキング道は通称ハーブ園東尾根と言っているようであるが、ハーブ園の最上は417メートルある四継山である。とすれば「四継山南尾根」と呼ぶのが正しいだろう。何れにしても狭くて急登は、こんな多人数のハイキングには不向きなコースではある。しかし、



登山コースへ入るのに長蛇の列となる

海拔50メートルの新神戸から標高差350メートルを詰める登りは結構シンドイが、普段あまり歩かないコースであり、ここさえ登れば後はお馴染みのハイキングコースとなる。

四継山の北斜面に付いている道から市が原へと出た。先頭と最後尾はかなり離れているので、トップとラストはトランシーバーでやり取りをし、歩行の調整をしながら予定の時間に再度公園へ入った。



昼食後、集合する参加者

天候 晴れ

参加者 260名（当会員78名）